

お客様のご要望を満たす 特別なデザイン

80 GHzの新世代レーダー レベル計 – Micropilot

利点

シンプルさ

- Bluetooth®接続またはデジタル通信インターフェースを備えた制御システムによる直感的な操作
- エラーの内容と推奨する対策がディスプレイに表示されるため、トラブルシューティングが容易

スマートな安全性

- ウィザードがSILロックとプルーフテストをガイドし、システムエラーを最小限に制御
- 機能安全規格：IEC 61508に準拠して開発されたデバイス
- バックライトが緑から赤に変わるとエラーが即座にハイライトされ、故障をすぐに検知

生産性の向上

- 新しく開発された80 GHz レーダー チップによって、困難なアプリケーションでも最大の測定パフォーマンスを実現
- Heartbeat Technology による動作中のプロセス監視、デバイス検証および診断を実現
- デジタル通信により、デバイスを資産管理システムに簡単に統合



新世代の80GHzレーダーレベル計の開発において、最も重要なことは、お客様のご要望でした。

測定ポイントへのアクセスが困難な場合、SIL認証を取得した測定器が必要な場合、プロセス温度が特に高い場合、低い場合にかかわらず、新世代のMicropilot FMR60B、FMR62B、FMR63B、FMR66B、FMR67Bは常に適切なソリューションを提供します。

革新的なレーダーチップとHeartbeat Technologyの組み合わせは、精度とお客様のメリットを兼ね備えています。

シンプルさ

ユーザーインターフェースは直感的に操作が可能です。

SmartBlueアプリとモバイル端末、または制御室からアクセスできます。操作が簡単で、試運転をガイドするウィザードも用意されているため、装置の操作にそれほどトレーニングは必要ありません。

また、エラー状態が発生した場合、MicropilotはNAMUR規格に従ってエラーの内容と推奨する対策を即座に表示します。

マニュアルを探したり、エラーコードを解読したりする必要がないため、時間と労力を節約できます。

スマートな安全性

例えば化学や石油・ガス産業では、高い安全基準がますます重要な要素となっています。分かりやすく効率的な操作オプションは、装置パラメータの設定時の系統的なエラーを防止します。広範な試験コンセプトは、プラントの安全レベルを高めると同時に、次のような利点もあります。

メンテナンスの手間を軽減新しいレーダーレベル計は操作手順ウィザードによって初期調整、SILロックおよびSILプルーフ試験を実施します。試験が完了すると、試験プロトコルが自動的に作成されEndress+Hauser SmartBlueアプリなどからアクセスできます。

また、自動作成されるチェックサム(CRC)は、システムティック・エラーを排除するために設計されました。これは、全ての安全関連パラメータで構成され、試験報告書に記載されます。ひとつのパラメータが変更されると、チェックサムも変更されます。そのため、パラメータが変更されたかどうかを一目で確認することができます。これにより、検査手順が大幅にスピードアップします。

もうひとつの安全機能は、ディスプレイのバックライトでエラーが発生すると緑から赤に変わります。これにより、最大10メートル離れたところからでも、故障に気付くことが出来ます。Endress+Hauserは、SIL規格に準拠する機器の開発において20年以上の経験を有しており、この新しい製品ラインアップは、IEC 61508に準拠して開発されました。つまり、これらの製品は、例えば均質な冗長性を持つSIL2およびSIL3アプリケーションで直接使用することができます。

代表的なアプリケーション

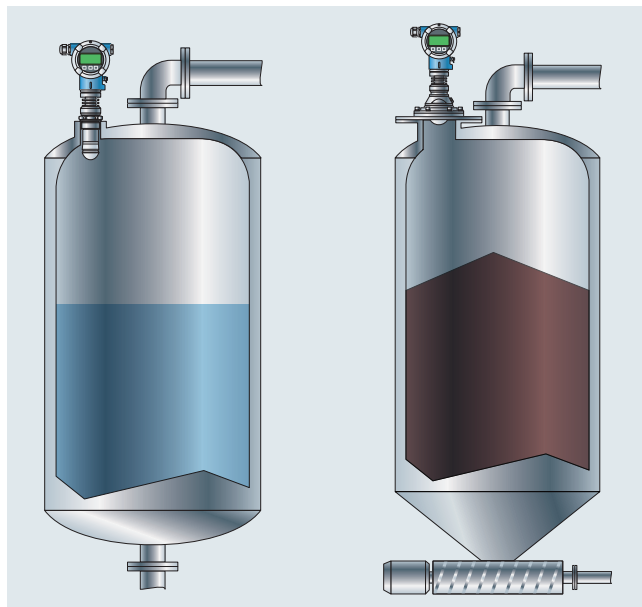
レベル計測での

- 特に高温または低温の媒体
- 腐食性・浸食性の高いメディア
- 泡を形成する液体
- 付着が発生する粉体サイロ
- サニタリーアプリケーション

生産性の向上

新世代のMicroplotは、データに基づくプロセスへの分析を提供し、生産プロセスの最適化を可能にします。HeartbeatTechnologyは、測定機器とプロセスの状態に関する透明性をユーザーに提供します。プロセスの監視は、SmartBlueアプリを介してリアルタイムデータにアクセスするか、資産に統合することで簡単に実行できます。例えば泡の形成や蓄積のような異常事態を早期に発見することができ、また測定機器が正しく機能しているかどうかの検証レポートも、プロセスを中断することなく3分以内で作成できます。

これらのモニタリング機能により、予知保全プロセスやプラント点検の事前計画、ダウンタイムの削減など、的を絞った意思決定が容易になります。また、HARTや、新しい革新的なEthernet-APL通信などのデジタル通信レポートにより、資産管理システムを介したプロセス診断が可能になります。なお、Ethernet-APLを使用することで、測定機器はクラウド経由で統合することもでき、モニタリングやプロセスパラメータの調整を遠隔で行うことができるようになります。



www.addresses.endress.com